

請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

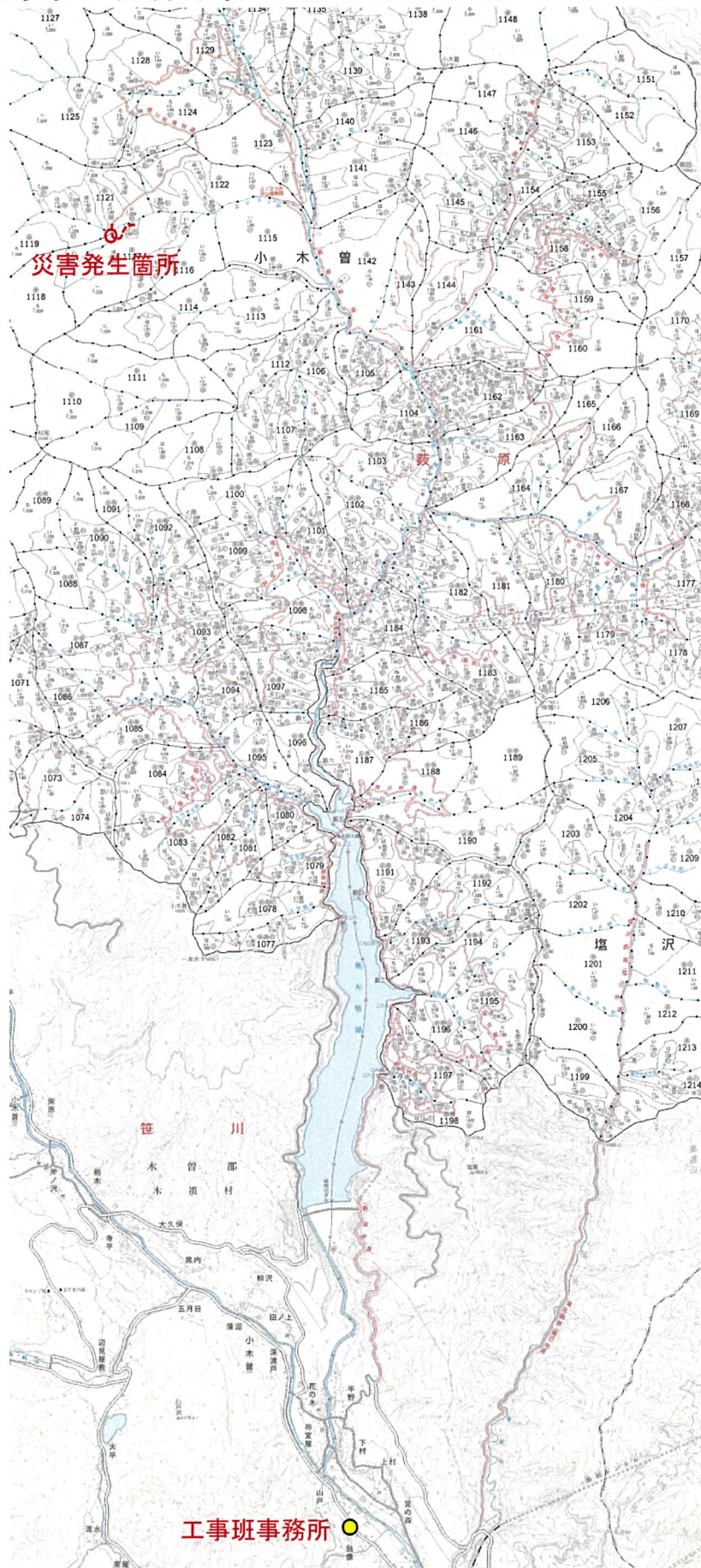
1 署 等 名	木曽森林管理署
2 事 業 の 種 類	請負事業（林道事業）
3 災 害 発 生 日 時 等	平成29年12月6日（水） 14時00分頃発生 怪我の程度：外傷性くも膜下出血 休業の見込み：2～3週間
4 災 害 発 生 場 所	長野県木曽郡木祖村小木曽国有林 1 1 1 8 い林小班
5 契 約 相 手 方	木曽土建工業株式会社 代表取締役 水本豪
6 事 業 実 行 事 業 体	木曽土建工業株式会社
7 被 災 者 年 齢 等	年齢：58歳 性別：男 2の事業の経験年数：11年 雇用区分：常雇 社会保険等加入状況：労災、雇用、健康、厚生、建退
8 従 事 作 業	コンクリート擁壁 型枠外し作業（林業専用道新設工事）
9 災 害 概 況	当日午後、被災者は同僚3名（A、B、C）と13時からNo.3コンクリート擁壁の型枠外し作業（Pコン取り外し、穴埋め作業）に従事し、同僚Dは測量準備作業等に従事していた。 被災者と同僚A、B、CはNo.3コンクリート擁壁の型枠外し作業にそれぞれが分かれ従事していた。 14時頃、被災者は型枠固定ネジを外すために、測点2243.4m付近のコンクリート擁壁（直高4.0m）の天端（幅40cm）を移動中、何らかの原因で天端から足を踏み外し地面に転落し被災したものと推定される。（ヘルメットの後左上側に亀裂が入っていた。） 転落した直後、同僚Aが落下音に気づき被災者に駆け寄ったところ、外傷は特に見られなかったが意識が混濁した状態であったため、付近で作業していた同僚B、Cを呼び、その後同僚Dも加わり被災者を救助、社有車に乗せ14時15分頃下山を開始した。 途中、携帯電話通話可能地点で会社へ連絡し、15時14分に木祖村小木曽の工事班事務所に到着したが、意識が混濁している状態が続いていたため救急車を要請。到着した救急隊の判断でドクターヘリを要請、木祖村から16時に伊那中央病院へ搬送、16時15分頃、伊那中央病院緊急外来で診察を受けた。
10 その他特記すべき事項	木曽警察署、松本労働基準監督署へ連絡済。（警察署は6・7日現場検証、労基署は7日現場検証実施） 被災者は脳圧を下げるため、薬で強制的に眠らされており、当分の間、聞き取りができない状況。

災害発生箇所位置図1

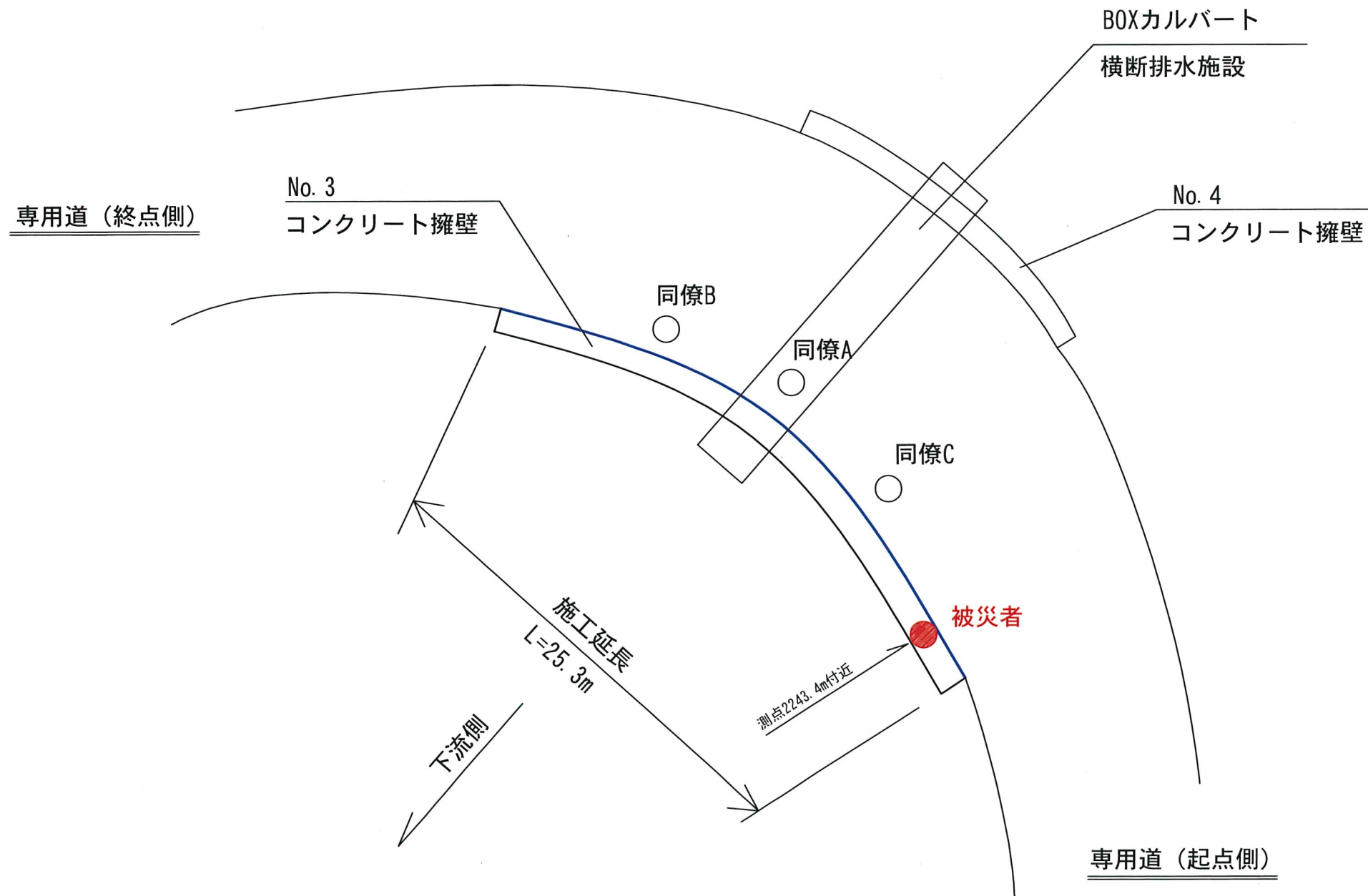
長野県木曽郡木祖村小木曽国有林1118い林小班



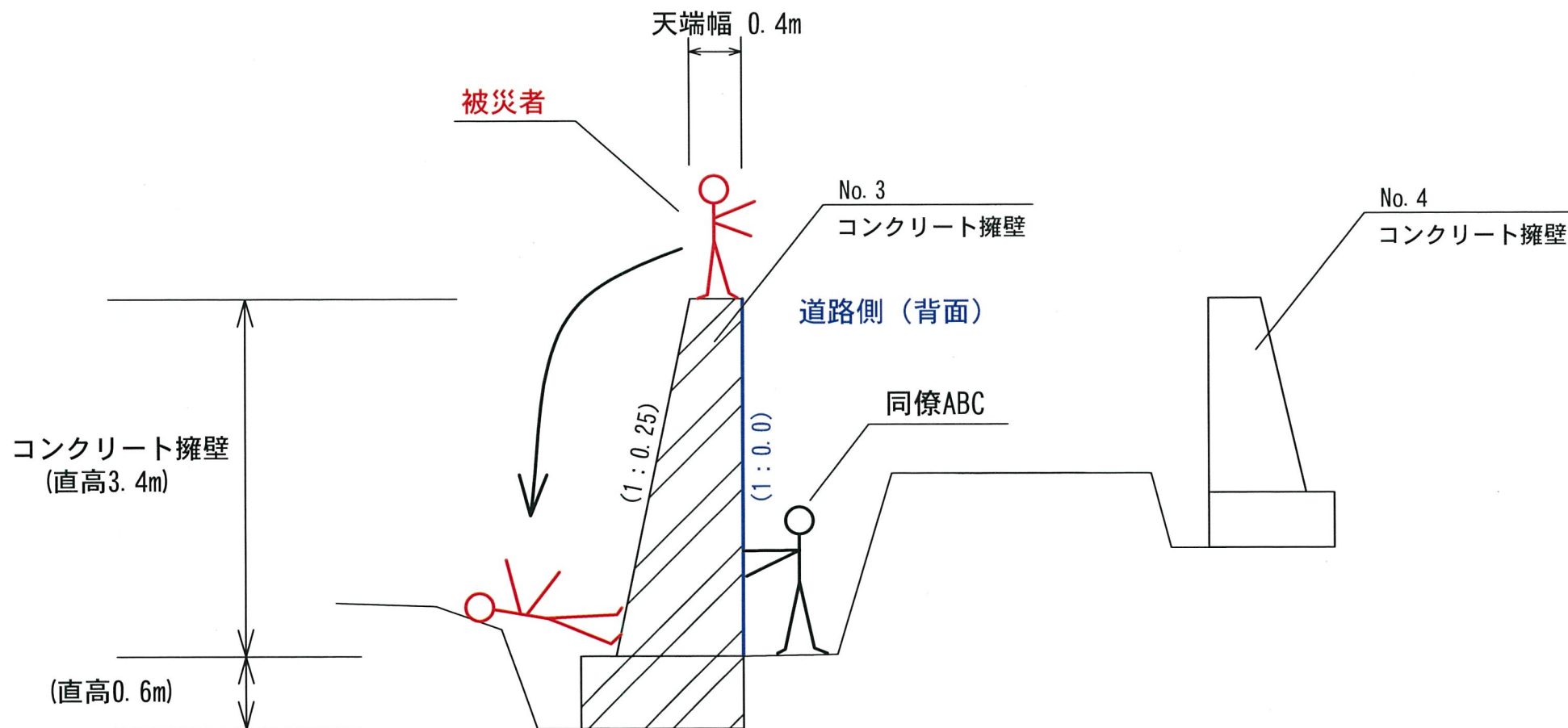
長野県木曽郡木祖村小木曽国有林1118い林小班



災害発生箇所平面見取図



災害発生箇所横断見取図



災害発生状況見取図

